

製品名: STAT5A/B ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21278**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:2000-1:8000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:91kD;Observed MW:100kD

抗原情報

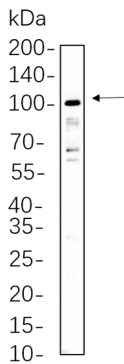
遺伝子名	STAT5A/STAT5B
別名	STAT5A;STAT5;Signal transducer and activator of transcription 5A;STAT5B;Signal transducer and activator of transcription 5B
遺伝子 ID	6776;6777
SwissProt ID	P42229,P51692
免疫原	-

背景

細胞局在: 細胞質、核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーです。サイトカインおよび成長因子に応答して、STAT ファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、細胞核に移行して転写活性化因子として作用します。このタンパク質は、IL2、IL3、IL7、GM-CSF、エリスロポエチン、トロンボポエチン、および様々な成長ホルモンなど、多くの細胞リガンドによって活性化され、それらの応答を媒介します。TEL/JAK2 遺伝子融合に関連する骨髄腫およびリンパ腫におけるこのタンパク質の活性化は、細胞刺激とは独立しており、腫瘍形成に必須であることが示されている。この遺伝子のマウスにおける同等の遺伝子は、BCL2L1/BCL-X(L)の発現を誘導することが分かっており、これはこの遺伝子が細胞内で抗アポトーシス機能を持つことを示唆しています。選択的スプライシング転写変異体は

研究分野

画像データ



K562 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を STAT5A/B ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。